

第18回LCテクノプラザ ～参加者募集～

主催 (公社) 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

共催 (公社) 日本化学会, (公社) 日本薬学会

後援 (社) 日本分析機器工業会

期日 1月24日(木)・25日(金)

会場 横浜情報文化センター(7Fの情文ホール及び大会議室)

[住所: 横浜市中区日本大通1番地, 交通アクセス: みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口より直結, JR根岸線「関内駅」より徒歩10分]

講演分類 ①集中テーマ: (A) 前処理における諸問題, (B) 分離における諸問題, (C) 検出・データ解析における諸問題, (D) 未解決の諸問題, 教訓的失敗例, ②一般テーマ, ③LCテクノレビュー, ④LC基礎技術講座, ⑤体験講演

発表形式 口頭発表(液晶プロジェクター), ポスター発表(横120cm×縦175cm)

口頭発表 質疑応答を含めて集中テーマ, 一般テーマは20分(希望によって30分まで延長可), LCテクノレビュー, LC基礎技術講座, 体験講演は30分。

ポスター発表 発表者は1日目の11時までに横120cm, 縦175cmのスペースにポスターを貼り終え, 2日目の15時以降に撤去。1日目の15時15分から, 各自2分以内で内容を紹介(パワーポイント使用可)。

座長へのお願い(交渉中の方を含む) ご担当の講演の15分前までに, 受付にお立寄りください。また, 講演時間を厳守して進行戴きますようお願いいたします。

1日目(1月24日, 9.50~19.30)

総合司会(佐藤尚之)

9.50~9.55 開会挨拶(実行委員長 中村 洋)

9.55~10.00 施設案内(現地世話人 大河原正光)

一般テーマ

10.00~11.30 (座長: 井上剛志, 伊藤誠治, 海老原卓也)

G01 HPLC-ECD法を用いる生体試料中の5-HT及び5-HIAAの同時定量(東邦大薬) ○鄭 超・飯塚英昭, 山田 博・福島健 **講演中止**

G02 クロマトグラフィー性能を表すパラメータの可視化についてのチャレンジ(信和化工) ○小林宏資・和田啓男

G03 トリコテセン系カビ毒分析法並びに主要カビ毒一斉分析法の検討(アサヒグループホールディングス) 田村昌義, ○望月直樹

集中テーマ(A) 前処理における諸問題

11.30~12.00 (座長: 望月直樹)

A04 生体中ペプチド医薬品およびバイオマーカー微量分析における諸問題と対策(日本ウォーターズ) ○佐々木俊哉・津田葉子

集中テーマ(B) 分離における諸問題

13.00~14.00 (座長: 長江徳和・福島 健)

B05 リン酸基含有化合物分析に対する新規高耐圧ステンレスフリーカラムの有用性について(島津ジーエルシー) ○佐藤友紀・山口忠行・尾坂裕輔・山本祝久

B06 サイズ排除クロマトグラフィーにおけるタンパク質凝集解析の諸問題と対策(日本ウォーターズ) ○津田葉子・佐々木俊哉

14.00~15.00 (座長: 小林宏資・佐々木俊哉)

B07 コアシェル型充填カラムを効率的に使うには (クロマニックテクノロジー) ○塚本友康・長江徳和

B08 極性化合物分析にも利用できる逆相系カラム C28・C30・PPF の特徴 (クロマニックテクノロジー) ○長江徳和・塚本友康

15. 15~16. 15 **ポスター発表紹介** (座長: 市川進矢・伊藤正人・清 晴世)

集中テーマ (A) 前処理における諸問題

AP9 非イオン界面活性剤分析のための前処理 (日本分光) ○寺田明孝・佐藤泰世・坊之下雅夫

AP10 酢酸亜鉛・光誘導体化HPLCによる納豆中ジピコリン酸の蛍光定量 (帝京大薬) ○杉本知世・谷川結香・馬渡健一・神田麻美・渡邊可奈・安田 誠・福内友子・山岡法子・金子希代子・中込和哉

AP11 HPLCにおける諸問題 — ゴーストピークの低減やキャリーオーバー改善に向けた基礎的検討 (東レ分析セ) ○川村俊明・浦嶋千裕・櫻井 周・竹澤正明

AP12 ヒト血漿中 Rosuvastatin(ロスバスタチン)の SOLA™による抽出および定量分析 (サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○本城靖子・大河原正光

集中テーマ (B) 分離における諸問題

BP13 キラル化合物の迅速メソッドスクリーニング (島津) ○山口忠行・寺田英敏・坂井健朗・早川禎宏

BP14 各種HILICカラムの保持メカニズムについて (シグマアルドリッチ ジャパン) ○海老原卓也・Dave. S. Bell

BP15 ペンタフルオロフェニル基充填剤の分離特性 (東京化成工業) ○沼口 惇・山口 努・井上剛志

BP16 コアシェル型充填カラムの固定相の展開とペプチド・タンパク質への応用 (クロマニックテクノロジー) ○塚本友康・長江徳和

BP17 核を持つ多孔質粒子の液体クロマトグラフィー用充填剤としての特徴 (クロマニックテクノロジー) ○長江徳和・塚本友康

BP18 酢酸亜鉛・光誘導体化HPLCによるピラジンカルボン酸系医薬品の蛍光定量 (帝京大薬) ○柳井美由紀・百瀬比彩・馬渡健一・安田 誠・福内友子・山岡法子・金子希代子・中込和哉

BP19 LC-MS/MSによるmiRNA分析—let-7アイソフォーム同時分析への挑戦— (東レ分析セ) ○安田周平

BP20 超高速液体クロマトグラフ (UHPLC) によるペプチドマッピングの検討 (東レ分析セ) ○吉永良介・竹澤正明

BP21 コアシェル型充填カラム CAPCELL CORE の基本特性 (資生堂) ○金澤昌之・神田武利

BP22 フェニルヘキシルカラムの開発と分離特性 (化学物質評価研究機構) ○小幡友貴・坂牧寛・須藤良久・内田丈晴

集中テーマ (C) 検出・データ解析における諸問題

CP23 NANA 及び ADOA の LC-MS 分析法 (帝京大薬) ○村上拓磨・太田達宏・安田 誠・福内友子・山岡法子・馬渡健一・金子希代子・中込和哉

CP24 硫酸アルミニウム添加移動相と光誘導体化HPLCを用いたチロシンの蛍光定量 (帝京大薬) ○矢部毬奈・田中陽介・馬渡健一・安田 誠・福内友子・山岡法子・金子希代子・中込和哉

集中テーマ (D) 未解決の諸問題, 教訓的失敗例

DP25 光照射により生じるニコチン及びコチニン蛍光体の解析 (帝京大薬) ○川代奈美・太田達宏・安西ひとみ・中村俊貴・安田 誠・福内友子・山岡法子・馬渡健一・金子希代子・中込和哉

一般テーマ

GP26 バッファー調製機能付HPLCシステムを用いたタンパク質のイオン交換分離メソッドの開発 (アジレント) ○熊谷浩樹・見勢牧男・内藤厚子・林 慶子

GP27 スルフォベタイン型HILICカラム「ZIC-HILIC」による高極性化合物の分離検討およびホスホリルコリン型HILICカラムとの比較 (メルク) ○尾形三恵子・清 晴世

GP28 イオン排除クロマトグラフィー質量分析による有機酸分析 (フジクラ) ○市川進矢

GP29 HPLC-PDAによるL-DOPA分解過程の追跡 (帝京大薬) ○浅見友美子・安田 誠・重谷英寿・五十嵐 司・福内友子・山岡法子・馬渡健一・金子希代子・中込和哉

- GP30** シラスウナギ種比率 DNA 鑑定法の開発 (静岡理工大) ○平口咲綺・山田健太・常吉俊宏
- GP31** LC/MS/MS による新規ケト酸分析法の確立 (味の素) ○野口和良・水越利巳・宮野 博・山田尚之
- GP32** LC-SPE 法を用いた不揮発性移動相条件の LC/MS 分析への適用 (ジャスコインタナショナル) ○鍵 紀子・山崎映明・垣見英登
- GP33** HPLC-CAD 法による食品中のオメガ 3, オメガ 6 脂肪酸分析 (日本ダイオネクス¹・Thermo Fisher Scientific²)
○福島景子¹・鈴木隆弘¹・大河原正光¹・関口陽子¹・Ian Acworth²
- GP34** LC-MS/MS を用いたイミノクタジンの分析 (資生堂) ○瀬尾昌子・荒井裕子・神田武利
- GP35** HPLC メソッド開発は YMC にお任せ下さい! ~Triart シリーズが奏でる分析四重奏~ (ワイエムシー) ○早勢理人・表 正克・小路庸子・栗山尚浩
- GP36** アミノ酸分析計を用いた日本薬局方での分析 (日立ハイテック) ○石川昌子・井上陽子・古矢美樹・中川裕章・伊藤正人

16.20~17.20 ポスター発表コアタイム

17.30~19.30 情報交換会

1) 実行委員長挨拶, 2) 来賓挨拶, 3) 第17回 LC テクノプラザベストプレゼンテーション賞受賞者表彰: ベストオーラルプレゼンテーション賞: 岩畑大悟氏 (味の素), ベストポスタープレゼンテーション賞: 佐藤友紀氏 (島津ジーエルシー), ベストテーマ賞 A 部門 (前処理における諸問題): 永富康司氏 (アサヒグループホールディングス), ベストテーマ賞 B 部門 (分離における諸問題): 瀬尾昌子氏 (資生堂), ベストテーマ賞 C 部門 (検出における諸問題)・D 部門 (未解決の諸問題・教育的失敗例): 渡邊京子氏 (島津製作所), ベストテーマ賞 G 部門 (一般テーマ): 小林宏資氏 (信和化工), 4) ラッキーパーソン・プレゼント抽選会 (ジャンケンリーダー: 高橋 豊)

2日目 (1月25日, 10.00~17.05)

集中テーマ(C) 検出・データ解析における諸問題

10.00~10.30 (座長: 熊谷浩樹)

C037 HPLC ポストカラム光誘導体化蛍光検出法を用いたニコチン及びコチニン分析法の評価 (帝京大薬) ○田中 茂伸・太田達宏・安田 誠・福内友子・山岡法子・馬渡健一・金子希代子・中込和哉

10.30~11.00 **体験講演** (座長: 三上博久)

T038 私の原点 (関東化学) ○佐藤尚之

11.00~11.30 **LC テクノレビュー 1** (座長: 常吉俊宏)

R039 液化炭酸ガスを用いた第3のクロマトグラフィーAQUITY UPC²のご紹介 (日本ウォーターズ) ○佐土有加

11.30~12.00 **LC テクノレビュー 2** (座長: 中込和也)

R040 高性能低圧混合型グラジエントポンプによるUHPLC システムの機能と特長 (アジレント) ○熊谷浩樹・見勢牧男

12.15~15.00 **横浜探訪ツアー** (コンダクター: 大河原正光)

15.00~15.30 **LC 基礎技術講座 1** (座長: 竹澤正明)

L041 前処理の基礎とトラブルシューティング (日本ウォーターズ) ○佐々木俊哉

15.30~16.00 **LC 基礎技術講座 2** (座長: 須藤良久)

L042 分離の基礎とトラブルシューティング (日本ダイオネクス) ○大河原正光

16.00~16.30 **LC 基礎技術講座 3** (座長: 坊之下雅夫)

L043 検出の基礎とトラブルシューティング (島津) ○三上博久

16.30~17.00 **LC 基礎技術講座 4** (座長: 宮野 博)

L044 LC/MS の基礎とトラブルシューティング (エムエス・ソリューションズ) ○高橋 豊

17.00~17.05 閉会挨拶

登録費 一般6,000円, 学生3,000円。当日受付にてお支払いください。

情報交換会 1月24日(木) 17時30分より開催します。参加費4,000円は当日お支払いください。

問い合わせ先

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(公社) 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会 第18回LCテクノプラザ実行委員長

中村 洋 [E-mail : nakamura@jsac.or.jp]